

求められる人材とは

秋田職能
短大

高校教員に学校説明会

大館市の秋田職業能力開発短期大学校（後藤康孝校長）で18日、高校の進路担当者を対象にした学校説明会が開かれた。

県内各地の15校から教員17人が参加し、地元企業の講話や施設見学を通して同校の取り組み、業界で求められる人材に理解を深めた。

進路指導に役立ててもらおうと毎年開催。ものづくりの現場でどのような人材が必要か知ってもらうため、地元企業にも講話してもらった。

東光鉄工の菅原訪順社長、大館桂工業の安達諭総務部長を招いた。

後藤校長はいさつで「この時代も、新たな価値観のものづくりには実践技術者が求められる。これからのリーダーになれる人材育成を掲げている。秋田の教育と、大学の教育が合致しているか見定めてほしい」と呼びかけた。

菅原社長は会社概要や製品、事業などを紹介し、「職能短大の出身者も多にいる。

ものづくりの基礎技術がしっかりしている」と評価。「近頃で重視している点なども説くに人材を養成する機関が明らかになった。



参加者は各学科の施設見学も行った。同校の教育訓練や進路指導についても学んだ。

………
県内各地から高校の進路担当者が訪れた説明会（秋田職能短大）